

色調装飾性を向上させた発色ステンレスの製品化と大型・大ロット化の実現

株式会社アサヒメッキ（表面処理業） / （地独）鳥取県産業技術センター

●企業概要

所在地：鳥取県鳥取市

取扱商品：電気めっき・その他表面処理・亜鉛めっき、亜鉛ニッケル合金めっき、アルマイト、黒染め化成、ステンレス電解研磨、ステンレス酸化発色

◆受賞歴など 厚生労働省「ものづくりマイスター」認定、「旭日単光章」前取締役会長木下義章受賞、第7回ものづくり日本大賞 中国経済産業局長賞 受賞
経済産業省創設 地域未来牽引企業 選定

●製品の概要・特徴

独自の手法で、大型製品においても色ムラやロット間の色のバラツキを抑え、豊富なカラーバリエーションを兼ね備えたステンレス鋼発色技術

●販売実績及び波及効果

売上金額：2千万円

納入実績：建材・機械・電気・
娯楽産業・医療・食品・雑貨等
**各ユーザーの付加価値向上による
新商品開発に貢献**



他分野で広がる可能性!!約20色で展開予定です。

赤、青、ゴールド、緑、黒の5色です。将来的には20色くらいを想定しています。



- ・視認性の向上により20色以上の発色が可能
- ・膜厚コントロールによる耐腐食性も向上
- ・現在量産品、サンプル品出荷にて、多方面から引き合いがある

●関係者からの声



●産総研と鳥取県産技センターの協力関係による製品化

(株)アサヒメッキ 代表取締役 木下淳之様

産総研・鳥取県産技センターの研究員の方々の研究アイデアと発想が事業開発に大きく貢献した事に感謝いたします。

●製品化への貢献は、研究者としても大きな喜び

製造技術研究部門 主任研究員 廣瀬伸吾・坂田義太郎

- ・アサヒメッキさんの独自技術開発への意欲や、鳥取県を元気にしようという心意気が開発を牽引しました(廣瀬)。
- ・大型製品では色むらの発生が課題となり、解決するためには、検査機の開発が必要不可欠でした(坂田)。



廣瀬(つくば) 坂田(九州)

●産総研の支援内容（つくば・九州センターで支援）

開発課題

ステンレス鋼製品の発色による付加価値向上と大型・大ロット化

産総研の貢献

- ・電解砥粒研磨技術を用いたステンレス発色前処理技術を移転、鳥取県産技センターと一体となって発色工程のプロセスを確立し、特許化(廣瀬)
- ・大型製品に対応する色むら評価技術及び自動検査機を開発(坂田)

鳥取県産業技術センターの貢献

- ・発色電位システム開発と製品の色調耐久試験(今岡睦明氏)
- ・色むら評価のJIS化(JIS G 4332)(玉井博康氏)

●産総研との連携のきっかけ

2014年、鳥取県産業技術センター玉井博康氏経由で産総研中国センターの大谷IC(当時)に技術相談があり、複数のセンター・研究者で製品開発をサポートしました。(産総研 中国センター IC 三島 康史、九州センターIC 野中 一洋)